

# 栃木県立博物館評価シート（平成28年度実績）

## 1. 定量的評価

評価基準 A:達成度100以上 B:99～80 C:80未満

分野	評価項目	目標値(a)	達成度 (b/a × 100)	評価	備考
		達成値(b)			
利用状況	年間入館者数	120,000 人	156.2	A	
		187,495 人			
	レファレンス件数	800 件	75.9	C	
		607 件			
展示	企画展開催回数	3 件	100.0	A	
		3 件			
	展示室利用率	75 %	105.5	A	
		79.1 %			
	来館者満足度	80 %	112.1	A	
		89.7 %			
普及教育	講座等開催回数	150 件	151.3	A	
		227 件			
	地域・学校移動博実施回数	15 件	140.0	A	
		21 件			
	学校来館数	165 件	101.8	A	
		168 件			
資料の活用	資料貸出件数	140 件	105.0	A	
		147 件			
	データベース公開件数	323,000 件	103.9	A	
		335,710 件			
調査研究	研究論文・研究報告書等件数	35 件	140.0	A	
		49 件			
	研究発表件数	25 件	140.0	A	
		35 件			
情報の発信	報道機関取材件数	30 件	136.7	A	
		41 件			
	ホームページアクセス件数	270,000 件	—	—	情報システムの不具合によるデータの欠損
		— 件			

2. 定性的評価

目標値:チェックリスト評価項目の数×3  
 達成値:チェックリスト評価aの数×3+bの数×2+cの数  
 評価基準 A:達成度100～91 B:90～81 C:80未満

評価項目		目標値(a)	達成度 (b/a×100)	評価	備考
		達成値(b)			
資料の収集・保管	資料の収集	15	93.3	A	
		14			
	資料の保存管理	24	83.3	B	
		20			
調査研究		12	91.7	A	
		11			
展示・普及教育活動	常設展示	12	100	A	
		12			
	企画展・テーマ展等	12	100	A	
		12			
	普及教育活動	18	100	A	
		18			
施設の計画的な整備・維持管理		24	83.3	B	
		20			
情報の発信と公開		21	100	A	
		21			
県民参加		15	86.7	B	
		13			
効果的・効率的な管理運営		12	100	A	
		12			
中核的博物館としての機能充実		24	100	A	
		24			

3. 年度内に取り組んだ重点事業・新たな取り組み等

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展、テーマ展等の開催 学芸員の調査研究に基づく企画展やテーマ展を開催し、本県の歴史・文化や自然の魅力・特色の一端を、研究を通して広く県民等に情報発信するとともに、「収蔵資料活用促進展示『収蔵庫は宝の山！』」を実施し、当館が収蔵する自然系資料の一部を初公開した。</li> <li>・普及教育事業の推進 市町や学校等と連携しながら、地域や学校における移動博物館の開催、出前講座や出前授業、観察会の実施など、普及教育事業を積極的に推進したほか、新たな取組として、県有バスを利用した小規模小学校の来館促進事業を実施した。</li> <li>・国際化への対応 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、文化庁補助事業を活用し、代表的な常設展示の解説をスマホ等端末等を用いて英語及び中国語(簡体字)で閲覧できるアプリケーションを構築した。</li> <li>・県立博物館の日イベントの実施 県民に親しまれ、開かれた博物館を目指して、毎月第3日曜日を「県立博物館の日」とし、学校や関係団体等の協力を得て各種イベントを実施した。</li> <li>・県立博物館開館35周年記念特別企画展への対応 展示関連の調査、資料の借用交渉を進めるとともに、県内関係10市町・4マスコミ参加の実行委員会及び関係15市町による連絡協議会を立ち上げ、特別企画展の内容等について協議・調整を行った。</li> </ul>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展やテーマ展の開催により、県民等に広く本県に対する知識・理解を深めてもらうとともに、収蔵資料活用促進展示により、博物館資料の収集・保管等の意義を周知することができた。</li> <li>・地域移動博物館や出前授業等の実施により、市町との連携を深めるとともに、児童・生徒への歴史、民俗、自然科学等に対する興味・関心を啓発するなど、普及教育を推進することができた。</li> <li>・展示資料の多言語化事業により、来館する外国人へのサービス向上が図られ、来館へのきっかけづくりとなるとともに、とちぎの魅力を国内外に発信することができた。</li> <li>・「県立博物館の日」は、通常の休日(平均412人)の2倍以上となる入館者数(平均979人)を確保するなど、県民に親しまれ、開かれた博物館に向け、着実に成果が得られた。</li> <li>・開館35周年記念特別企画展への対応については、実行委員会の開催等により、関係市町や地元マスコミ等との連携が図られ、開催に向けた準備を着実に進めることができた。</li> </ul>

4. 総合評価

目標値: 評価項目の数 × 3

達成値: 評価aの数 × 3 + bの数 × 2 + cの数

評価の種類(項目数)	A評価	B評価	C評価
定量的評価(14項目)	12	0	1
定性的評価(11項目)	8	3	0
総合評価	93.1% [達成値/目標値: $((12+8) \times 3 + (0+3) \times 2 + (1+0) \times 1) \div ((13+11) \times 3) = 67 \div 72 = 0.931$ ]		

5. 自己評価総括

評価	<p>「定量的評価」については、「レファレンス件数」が目標値を下回ったものの、「入館者数」、「講座等開催回数」及び「調査研究」が目標値を大幅に上回るなど、多くの項目で目標値を上回っていること、また、「定性的評価」については、「資料の保存管理」、「施設の計画的な整備・維持管理」及び「県民参加」の3項目が目標値を下回ったものの、多くの項目で目標値を達成し、国際化への対応も一定の成果が得られたことから、概ね適正な運営であった。</p> <p>しかしながら、「定性的評価」の目標値を下回っている項目においては、資料の収蔵スペースの不足や利用者数に見合った駐車場の不足など、博物館本来の使命や県民サービス向上に関わる大きな課題があることから、主管課である県民文化課等と協議・連携しながら、対応について検討を進めていく必要がある。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の収集・保管に係る収蔵スペースの確保及び一部収蔵庫の環境改善</li> <li>・開館後34年が経過し、老朽化した設備の計画的な更新</li> <li>・多言語解説アプリケーションの更なる充実など国際化への対応</li> <li>・来客用駐車場の確保</li> <li>・ボランティア活動の活性化</li> <li>・人口減少、少子高齢化等の社会的変化の中での入館者数・利用者数の増加策</li> </ul>
対応の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵スペースの確保については、敷地内に新たな収蔵庫を整備することとし、平成32年度の供用開始を目途に、基本・実施設計を進めていく。</li> <li>・設備の計画的な更新については、設備の状況等を踏まえ、優先順位を検討した上で、計画的な更新ができるよう予算の確保に努める。</li> <li>・国際化への対応については、補助制度の活用により、多言語解説アプリケーションに中国語(繁体字)及び韓国語を追加するなど拡充を進めていく。</li> <li>・来客用駐車場の確保については、引き続き検討していく。</li> <li>・ボランティア活動の活性化については、ボランティアの意向も踏まえながら、主体的な活動ができるよう環境の改善を図っていく。</li> <li>・入館者数・利用者数の増加策については、博物館の存在意義を踏まえつつ、県立の社会教育施設として、県民のニーズも踏まえながら、入館者・利用者の維持・増加を図る。</li> </ul>

## 6. 博物館協議会総括

協議会の意見	<p>平成28年度の博物館の運営の状況については、概ね適正に運営されたと判断し、次の項目を意見とする。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 昨年度、協議会が行った博物館評価において意見とした収蔵スペース不足の解消については、新たに博物館の敷地内に新収蔵庫棟を整備することとして、平成32年度の供用開始に向け、今年度、基本・実施設計が進められているところであり、一歩前進したと認められる。</li><li>2 次の事項については、博物館本来の使命や県民サービス、県民との協働等、博物館の運営に関わる大きな課題であることから、対応策を検討すること。<ol style="list-style-type: none"><li>① 県民利用の向上を図るため、駐車場を確保すること。あわせて、高齢者、身体障害者等に配慮した駐車場を博物館の近くに整備すること。</li><li>② 学芸員を継続的に確保するとともに、市町の学芸員との交流、専門研修への参加などを通じ、人材育成を図ること。</li><li>③ 博学連携を推進するため、学校側の支援を受けられるよう更なる連携に努めること。</li><li>④ 博物館がボランティアを積極的に支援し、やりがいを感じてもらうことにより、ボランティア活動の更なる活性化を図ること。</li></ol></li></ol>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 定性的評価項目チェックリスト

a:概ねできている b:ある程度できている c:不十分

大項目	中項目	チェック内容	評価
1 資料の収集・保管	(1) 資料の収集	① 必要な資料収集が行われているか	b
		② 館が定めた中・長期的な収集方針に基づき資料収集が行われているか	a
		③ 客観的な評価を経て購入・受け入れをしているか	a
		④ 収集資料の燻蒸・クリーニングが適切に行われているか	a
		⑤ 標本作成途中の資料の管理が適正に行われているのか	a
	(2) 資料の保存管理	① 資料の収蔵スペースは確保されているか	c
		② 資料の収蔵環境は適正に管理されているか	b
		③ 有害生物のモニタリングを実施し、その結果に基づき適切な対処をしているか	a
		④ 資料の修復や保存処理等の措置を必要に応じて行っているか	b
		⑤ 借用資料・寄託資料の更新手続きは適正に行われているか	a
		⑥ 資料台帳・データベースが整備・更新されているか	a
		⑦ 収蔵庫の入退室管理簿が整備されるとともに、適正に管理されているか	a
		⑧ 収蔵庫の鍵が適正に管理されているか	a
2 調査研究	① 学芸員個々の専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	a	
	② 調査研究活動を遂行するために必要な専門研修に参加しているか	b	
	③ 調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	a	
	④ 調査研究の成果を、国、県、市町村、地域社会等にさまざまな形で還元しているか	a	
3 展示・普及教育活動	(1) 常設展示	① 展示資料等が適宜点検されているか	a
		② 展示情報が適宜修正・更新されているか	a
		③ 展示設備等が適宜点検・整備されているか	a
		④ 展示解説等が適宜実施されているか	a

3 展示・普及教育活動	(2) 企画展・テーマ展等	①	県民ニーズや時代の要請を踏まえて、企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		②	調査研究成果の蓄積や、最新の学術情報を反映した企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		③	模範的、先進的な展示手法を用いた企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		④	中・長期的な企画展の開催計画を策定しているか	a
	(3) 普及教育活動	①	多様な参加者を想定したプログラムが用意されているか	a
		②	学校教育活動との連携を図っているか	a
		③	教員指導者向けの支援・育成プログラムを実施しているか	a
		④	事業実施にあたり参加者の安全が配慮されているか	a
		⑤	来館者用の図書・情報コーナーを整備しているか	a
		⑥	学芸員実習や職場体験の学生・生徒を受け入れ、適切に指導しているか	a
4 施設の計画的な整備・維持管理	①	施設の維持・改善についての計画を策定しているか	b	
	②	危機管理マニュアルを整備し職員に周知しているか	a	
	③	緊急事態に対応できるよう、消防・避難等の訓練を定期的実施しているか	a	
	④	休憩コーナー、授乳コーナーの設置や車椅子の貸し出し等、来館者が快適に観覧できる環境が整っているか	a	
	⑤	手すり、点字ブロックなど、バリアフリー化への取り組みがなされているか	a	
	⑥	利用情報や館内サインはわかりやすく表示されているか	a	
	⑦	館内サインの英文表記など国際化への対応はとられているか	b	
	⑧	利用者数に見合った駐車場が確保されているか	c	
5 情報の発信と公開	①	館の使命をわかりやすい言葉で明文化し、ホームページなどで公開しているか	a	
	②	年報、要覧などを通して、事業実績や(目標の達成状況、)財務など、館の運営状況を公開しているか	a	
	③	展示・普及教育事業情報が利用者に広く発信されているか	a	
	④	収蔵資料の館外貸し出しに適切に対応しているか	a	

		⑤ 収蔵資料の特別利用(熟覧・撮影等)に適切に対応しているか	a
		⑥ 二次資料(写真等)の特別利用(原板使用等)に適切に対応しているか	a
		⑦ 資料のデータベースを公開・更新しているか	a
6 県民参加		① ボランティア活動が活発に行われているか	b
		② ボランティア研修が適切に実施されているか	b
		③ 友の会、研究団体、文化団体等が館事業に参加する機会を設けているか	a
		④ 施設利用のための情報が公開されているか	a
		⑤ オープンスペースを有効に活用しているか	a
7 効果的、効率的な管理運営		① 館として中長期的な経営目標を定め、職員に周知しているか	a
		② 館の事業や業務に関して、意思決定のための会議を定期的に行っているか	a
		③ 事業面、管理運営面など全般にわたる自己評価を実施しているか	a
		④ 事業面、管理運営面など全般にわたる外部評価を実施しているか	a
8 中核的博物館としての機能充実		① 公開承認施設として資料を公開しているか	a
		② 県内の博物館職員を対象とした研修会・見学会等を実施しているか	a
		③ 県内の博物館施設を対象とした協力・支援・連携事業を実施しているか	a
		④ 県外博物館施設との相互協力事業を実施しているか	a
		⑤ 地方自治体や各種組織に専門的な立場で助言・情報提供を行っているか	a
		⑥ 大学、高校等の教育機関への寄与・貢献を行っているか	a
		⑦ 県内外の学会、研究会等の運営に寄与・貢献しているか	a
		⑧ 栃木県博物館協会の中心館として機能しているか	a